

# ふおれすと鉾山での自然体験を通じて、地域で活躍する人材が育ってほしい



**鉾**

山地区の自然に対して思いのある人が集まり、平成14年にモモンガくらぶが結成された時、うれしく感じたことを覚えています。

私は当時、登別山岳会に所属しており、登別の自然が大好きで、その魅力を伝えたいと思っていました。そして、同じような思いをもって集まった方と共に、ふおれすと鉾山を活用して、地域のために何ができるのかを考えていました。

結成当時、地域に貢献したいというメンバーの思いは共通していましたが、考え方は十人十色だったと思います。当時、私は別な職場に勤務していましたが、寝る間を惜しみ毎

## 森からの発信者



まつ ばら  
**松原**

じょう いち  
**條一さん**

新生町在住、70歳。NPO法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶの理事長、そして、ネイチャーセンターふおれすと鉾山のセンター長を務める。施設運営の中心を担いながら、鉾山周辺の自然ガイドなども行う。後進の育成にも尽力している。

日のようにふおれすと鉾山に通い、鉾山地区の自然を活用してどのような取り組みが可能なかを整理し、互いの考えをすり合わせ、ふおれすと鉾山でのボランティア活動の手法を形づくっていきました。

その一つがチーム制です。自然を生かして子育て支援をするチーム、環境保全活動を行うチーム、自然体験行事を企画・実施するチームなど、それぞれ異なる目的をもつチームを

つくり、各人の考えに合ったチームへ所属することで、やりがいをもって活動することができます。

望んだボランティア活動ができることに魅力を感じてもらえているのか、年々ボランティアに参加する方が増えていきました。私たちモモンガくらぶは、平成17年にNPO法人格を取得し、平成19年にふおれすと鉾山の指定管理者となりましたが、現在でも、多くのボランティアスタッフに支えられています。

ふおれすと鉾山に、多くの人に足を運んでもらい自然を楽しんでもらうためには、魅力的なプログラムが必要です。多様なプログラムを行っているのは、ボランティアの方のサポートのおかげです。

川に飛び込んだり、マウンテンバイクで山を走り回ったり、自然の素



▲モモンガくらぶやボランティア、市などが、森林の整備や保全について協議する『森づくり総合計画懇話会』

材でアクセサリを作ったりと、さまざまなプログラムからなる自然体験は、子どもたちにとって非日常的でとても楽しいことです。子どもたちは、自然を楽しむことで、自然の大切さを学び、豊かな心を養っていくのだと思います。また、ボランティアの方も、ふおれすと鉾山での経験を生かし、居住する地域や所属する団体で活躍しているようです。

ふおれすと鉾山は社会教育施設です。学校では習わないことを学んだ子ども、経験を培ったボランティアスタッフが、それぞれの地域に戻って活動することで、さまざまなまちづくりにつながっていくと信じています。これからも、ふおれすと鉾山から、多くの人材が羽ばたいていくことを願っています。



▲ガイドとして鉾山地区に自生する植物について説明する松原さん（右）